

## 安全データシート

Safety Data Sheet

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 : 白馬 アルカリイオン水  
 会社名 : 株式会社 万立  
 住所 : 大阪府柏原市片山町 13-59  
 担当部門 : 技術  
 電話番号 : 072-977-0898  
 F A X 番号 : 072-977-0899  
 推奨用途及び使用上の制限 : 除菌・洗浄剤及び希釈剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 : 区分外  
 健康に対する有害性  
 皮膚感作性 : 短時間では腐食性無し  
 上記、記載のない危険有害性については、分類対象外か分類できない。  
 ラベル要素 : なし  
 注意喚起語 : なし  
 危険有害性情報 : 眼に対する刺激性  
 飲み込むと有害のおそれ  
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

## 注意書き

## 【予防策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 スプレーの吸入を避けること。  
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。  
 製造者／供給者または規制当局が指定する保護手袋／衣類および保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 環境への放出を避けること。

## 【対応】

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
 目に入った場合 : 清水で15分以上注意深く流水洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師に連絡すること。  
 皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

## 【保管】

涼しいところ／換気の良い場所で保管すること。  
 施設して保管すること。

## 【廃棄】

廃棄する場合、多量の水で希釈して廃棄すること。

## 【使用上の注意】

安全データシート（SDS）を参照して下さい。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 官報公示整理番号（化審法） : 既存

官報公示整理番号（安衛法）	：	なし
成分及び含有量	：	電解アルカリイオン水
危険有害性成分	：	通常の手扱いに於いて特に有害成分はない。
<b>4. 応急処置</b>		
吸入した場合	：	被災者は空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	多量の水で洗い流す。炎症がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	：	直ちに清水で15分以上注意深く流水洗浄後医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：	水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
応急処置をする者の保護 医師に対する特別注意事項	：	救助者は可能な限り保護具（手袋、眼鏡）を着用する。 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。
<b>5. 火災時の処置</b>		
消火剤	：	不燃性
使ってはならない消火剤	：	情報無し
<b>6. 漏出時の処置</b>		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	：	作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
環境に対する注意事項	：	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法	：	少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、ドラム等に回収する。
二次災害防止策	：	床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>		
取扱い		
技術的対策	：	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項	：	眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱注意事項	：	作業の換気を十分行う。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意する。取扱い後は、手、顔等良く洗い、うがいをする。
保管		
適切な保管条件	：	直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管する。保管温度は0～30℃が望ましい。
安全な容器包装材料	：	本剤の小分け容器には、ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用する。 鉄、アルミ製容器は避ける。
<b>8. 暴露防止及び保護処置</b>		
設備対策	：	排気装置 不要
許容濃度	：	データ無し。
管理濃度	：	データ無し。
許容濃度	：	データ無し。
保護具		
呼吸器の保護具	：	通常の手扱いでは特に必要ない。
手の保護具	：	不浸透性（耐薬品、耐油）保護手袋
目の保護具	：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	：	長袖作業衣、ゴム長靴
適切な衛生対策	：	取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>		
物理的状态		
性状	：	透明液状（20℃）
色	：	無色
臭気	：	なし

PH (原液)	: 12以上 (原液)
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: 約100℃以上
融点	:
蒸発速度	: データ無し。
燃焼性 (固体、ガス)	: データ無し。
燃焼又は爆発特性	: データ無し。
蒸気圧	: データ無し。
蒸気密度	: データ無し。
比重	: 1.0 (20℃)
溶解温度: 水溶解性	: 水と任意に溶解
溶媒溶解性	: データ無し。
発火点	: なし
自然発火温度	: なし
分解温度	: データ無し。
その他のデータ	: データ無し。

#### 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
反応性	: 自己反応性無し。酸性物質とは中和反応により発熱する。
避けるべき条件	: 40℃以上の温度で長時間放置する。
避けるべき材料	: 鉄、アルミ等は腐食するので接触を避ける。
混触危険物質	: 情報無し。
危険有害な分解生成物	: 情報無し。
その他	: 情報無し。

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ): 情報無し。
急性毒性 (経皮)	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ): 情報無し。
急性毒性 (吸入: ガス)	: 情報無し。
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 情報無し。
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	: 情報無し。
皮膚腐食性/刺激性	(製品のデータ): 接触すると、炎症を起こすおそれ。
	(成分のデータ): 情報無し。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ):
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ):
生殖細胞変異原性	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ): 情報無し。
発ガン性	: データ無し。
	(成分のデータ): 情報無し。
生殖毒性	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ):
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ): 情報無し。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	(製品のデータ): 情報無し。
	(成分のデータ): 情報無し。

吸引性呼吸器有害性 (製品のデータ) : 情報無し。  
(成分のデータ) : 情報無し。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (製品のデータ) : 情報無し。  
(成分のデータ) :

残留性/分解性 : 情報無し。

生体蓄積性 : 情報無し。

土壤中の移動性 : 情報無し。

その他 (製品のデータ) : 情報無し。

## 13. 廃棄上の注意

: 廃棄する場合、多量の水で希釈して廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

輸送上特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急処置指針番号 : 無し。

## 15. 適用法令

国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない。	化審法 (特定化学物質、監視化学物質)	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 該当しない。	毒劇物取締法	: 該当しない。
消防法	: 該当しない。	高圧ガス保安法	: 該当しない。
火薬類取締法	: 該当しない。	船舶安全法	: 該当しない。
航空法	: 該当しない。	その他の法令 : 海洋汚染防止法	: 該当しない。

## 16. その他の情報

問い合わせ先

会社名 : 株式会社 万立  
住所 : 大阪府柏原市片山町 1 3-5 9  
担当 : 技術  
電話番号 : 0 7 2-9 7 7-0 8 9 8  
F A X 番号 : 0 7 2-9 7 7-0 8 9 9  
緊急連絡先 :  
引用文献 :

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。

取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いいたします。